

Abstract

本発明の実施形態例に係るフェルール把持装置は、半導体レーザ素子等の光部品と光結合されるフェルール付き光ファイバの光軸調整を行う際に、フェルールの側面をフェルール長手方向に約2mmの接触長さで挟持する第1の挟持部と、フェルールの側面をフェルール長手方向に約0.5mmの接触長さで挟持する第2の挟持部とが一体に形成されている。本発明の実施形態例によれば、フェルールを第1の固定部品に固定した後、フェルールの側面をフェルール長手方向に短い接触長さで挟持して光軸調整を行うので、てこ移動の範囲が十分に確保できるとともに、第1の固定部品とフェルールのYAG溶接部分に余分な負荷がかかり、破損や変形等を防止できる。